

【学校長挨拶】

西東京市立 けやき小学校
校長 五十嵐 誠一

雨や寒さに耐えた桜が新入生を迎えてくれました。今年も校舎に元気な声が響く春となりました。

今年度、けやき小学校では103名の新入生を迎え、新しいスタートを切りました。

私も着任2年目として引き続き学校づくりの仕事させていただくことができ、大変うれしく思っています。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、けやき小学校では今年度あらたな教育目標を定めることになりました。建学以来の教育理念である「確かな一歩」を学校の土台として大切にしつつ、新たな時代に求められる子どもの具体的な姿を教育目標として掲げていくことになりました。

「確かな一歩」

◎学び合う子

(お互いの思いや考えを大切に、学びを楽しむ子)

○つながり、支え合う子

(積極的に仲間や社会に関わり、共に成長する子)

○健康でたくましい子

(心身の成長と健康に興味関心をもち、毎日の学校生活に前向きな意欲をもつ子)

この教育目標を実現するために今年も次のスローガンを掲げていきたいと思えます。

「学校しっとり、子どもニコニコ、先生 生き生き」

「学校しっとり」

学校は言うまでもなく、学びの場です。しっとりと落ち着いた雰囲気がないところに本当の学びは生まれません。元気で活発な活動も大切ですが、それ以上に穏やかでしっとりとおちついた学校づくりを心がけていきます。

「子どもニコニコ」

子どもにとって学校はそれぞれの家庭と同じくらい、長い時間を過ごす大切な学びや生活の場です。そうであるならば、そこは子どもたちにとってあらゆる意味で安心、安全な場でなければなりません。学校の教育活動の基礎の基礎としての安心、安全を大切に、充実した授業を終えた放課後の子どもたちが笑顔で帰って行ける学校を目指していきます。

「先生 生き生き」

子どもたちの前に立つ教師は 心も体も健康であることが求められます。大切な授業や子どもたちの指導に時間とエネルギーを最大限使えるように、学校の業務を整理すると同時に「学び続ける教師」であることによって生き生きと子どもたちの指導にあたる教師集団を目指します。

学校での教育はそれぞれの子どもの家庭での生活が土台となっています。あたたかく安心できるお家があることで、子どもたちは家を出て学校に向かう力を得ます。お腹も心も満たされるおいしいご飯を食べてくることで子どもたちは学校で生き生きと活動する力をもてます。御家庭に学習のための場所と時間を作っていただくことで、子どもたちは学校で学んだことを定着させることができます。そんな御家庭の姿をぜひ作っていただければと思います。そして子どもたちの健やかな成長のため、家庭と地域と学校が「和の力」をもって連携していきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。